

シラバス対応表（歯学科6年生）

歯学科専門科目

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	担 当 (教育研究分野)	頁
260DS601	歯科臨床推論	▲ 4月～6月	1	生体歯科補綴学分野	281
260DS602	歯科法医学	▲ 6月～7月	1	法医学分野（医）	283
260DS603	臨床実習Ⅱ	● 4月～10月	18	歯学教育研究開発学分野 臨床系各分野	285

令和8年度 歯学科 6年生 時間割表

曜日	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日				
	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限
4月	1-3																				(歯学史)				
	6-10					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II				
	13-17																				歯科臨床推論				
	20-24																								
5月	4/27-1					(休講)					(祝日)					(休講)					(休講)				
	4-8					(祝日)					(祝日)														
	11-15																				歯科臨床推論				
	18-22																								
	25-29																								
6月	1-5					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II				
	8-12																								
	15-19																								
	22-26																				歯科法医学				
7月	6/29-3																								
	6-10																								
	13-17																								
	20-24					(祝日)																			
	27-31					臨床実習 II																			
8月	3-7																								
	10-14																								
	17-21																								
	24-28					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II				
9月	8/31-4					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II				
	7-11																								
	14-18																								
	21-25					(祝日)					(祝日)					(祝日)									
10月	9/28-2					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II				
	5-9																								
	12-16					(祝日)																			
	19-23					臨床実習 II					臨床実習 II					臨床実習 II									
	26-30																				共用試験CSX				
11月	2-6					(祝日)																			
	9-13																								
	16-20																				共用試験CSX追試験				

共用試験CPX : 1月7日(水)~10月30日(金)

1限 8:45~10:15 / 2限 10:30~12:00 / 3限 13:00~14:30 / 4限 14:45~16:15 / 5限 16:30~18:00

科目名：歯科臨床推論

担当教員名(所属)：秋葉 陽介、秋葉 奈美、長澤 麻沙子、江口 香里

開講番号：260DS601

開講学期：第1学期

水準：15

単位数：1単位

対象学部等：歯学部歯学科6年生

【科目の概要】

適切な歯科医療を提供するためには、診療技能、態度および知識の習得と共に、適切な診療計画の立案が必要不可欠である。診療計画立案の前提は的確な検査・診断と、これに基づく治療手順の決定である。この一連の意思決定プロセスは臨床推論と呼ばれる。歯科医師が患者の治療を開始する前に行うべき具体的作業としては、問題点の抽出、必要な検査の実施、診断、治療方針決定、治療計画立案が挙げられる。本演習は実際の臨床症例を用いて治療方針決定および治療計画立案をグループ討議によって行い、臨床推論能力の涵養を目指すものである。歯科医師として実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

適切な治療計画立案のために、一口腔単位での治療計画立案を系統的に行う演習と、そのプロセスと結果に関する自己評価によって、歯科医師に必須の歯科臨床推論能力を涵養する。

【学習の到達目標】

- ・ 診断に必要な検査方法を列挙する。
- ・ 診断に必要な検査方法を選択する
- ・ 検査結果に基づいて診断する
- ・ 診断の結果に基づいて問題点を列挙する
- ・ 個々の問題点に対する適切な治療方法を選択する
- ・ 治療方針を決定する
- ・ 治療計画を立案する
- ・ 治療方針と計画をわかりやすく説明する
- ・ 適切にグループ討議を行う
- ・ 歯科専門用語を適切に使用する
- ・ 立案した治療方針・計画を客観的に分析・評価する

【授業の実施形態について】

事前学習によって個人的に立案した治療方針と計画を基に、討議を通してグループとしての方針と計画を完成させる。さらに、発表および質疑応答を通してより良いと思われる方針と計画を完成させる。その後、自身で立案した治療方針・計画とグループで立案したそれを、配布するルーブリックによって評価し、レポートを作成する。

【登録のための条件(注意)】

履修上の注意

事前に配布する患者データに基づき、演習に先立って個人で治療方針と計画を立案した上で、指定したワークシート、PowerPointのファイルを完成させておく必要がある。

一連の演習への消極的な関わりは学習効果を著しく下げるので、学習者として積極的に参加すること。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/10(金) 3-4限	オリエンテーション、演習の進め方解説、自己評価方法解説(ルーブリック解説)、チェックリスト使用法及び記載方法解説(秋葉)	
2	4/17(金) 3-4限	症例1グループ討議：役割分担、発表用グループプロダクト作成(秋葉)	症例1個人用ワークシート(1-3)作成
3	4/24(金) 3限 4限	症例1発表、討議、解説(秋葉) 症例1レポート(ワークシート4)作成、自己評価シート、チェックリスト記入	症例1グループプロダクト完成、発表準備
4	5/8(金) 3-4限	症例2グループ討議：役割分担、発表用グループプロダクト作成(秋葉)	症例2個人用ワークシート(1-3)作成
5	5/15(金) 3限 4限	症例2発表、討議、解説(秋葉) 症例2レポート(ワークシート4)作成、自己評価シート、チェックリスト記入	症例2グループプロダクト完成、発表準備
6	5/22(金) 3限 4限	症例1、2のレポート相互評価 症例1、2の相互評価についてグループ討議	
7	5/29(金) 3-4限	症例3グループ討議：役割分担、発表用グループプロダクト作成(秋葉)	症例3個人用ワークシート(1-3)作成

8 6/5 (金) 3限
4限

(講義内容)
症例3発表、討議、解説(秋葉)
症例3レポート(ワークシート4)作成、
自己評価シート、チェックリスト記入

症例3グループプロダクト完成、発表準備

【成績評価の方法と基準】

提出物(治療計画レポート(症例1~3)、チェックリスト(症例1~3)、アンケート、同意書)全てを提出した学生を評価の対象とする。

治療計画立案レポート(60%)

自己評価結果に対する担当教員による評価(20%)

相互評価チェックリスト(10%)

演習への参加態度・出席態度(10%)

以上を総合して評価する。

不合格となった学生に対する再試験は原則として行わないが、課題を課して再度評価をすることがある。

【使用テキスト】

適宜プリントを配布する

【生成AIの利用について】

本科目では、レポート、試験、その他の課題作成において、生成AIの利用を禁止します。また、授業で配布される全ての資料に関して、生成AIに読み込ませることも禁止します。全ての成果物は、学生自身の知識と思考に基づき作成してください。利用が確認された場合は、不正行為とみなし、学則に基づき厳格に対処します。

科目名：歯科法医学

担当教員名(所属)：高塚 尚和、葛城 梨江香、藤田 一(非)

開講番号：260DS602

開講学期：第1学期

水準：14

単位数：1単位

対象学部等：歯学部歯学科6年生

【科目の概要】

歯科医師に求められる歯科所見等に基づく個人識別並びに身元確認に関連する死因究明等の制度について概説する。さらに、歯科診療において必要となる法医学の知識全般についても講義する。

※歯科医師および医師として実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

大規模災害時等における身元確認等に資するため、歯科による個人識別の重要性を理解し、歯科による個人識別及び身元確認の方法を習得すること、並びに身元確認に関連する死因究明等の制度を理解することを第一の目標とする。その他、人の死、脳死や死の定義、死因としての損傷・窒息・中毒、子ども虐待等についても講義し、歯科医師として法律に則った適切な対応ができるようになることを目指す。

【学習の到達目標】

- ・ 歯科所見に基づく身元確認ができるようになる。
- ・ 死因究明制度を説明することができる。
- ・ 内因死および外因死を正確に判断することができる。
- ・ 死因を正しく診断することができ、正確な死亡診断書を作成することができる。

【授業の実施形態について】

講義形式で実施する。また、講義内容の理解度を確保するため簡単な小テスト等を毎回講義後に実施する。

【登録のための条件(注意)】

- ・ 講義内容については事前に教科書を読み、予習してから講義に臨んで下さい。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	6/26(金)3限	法医学総論(藤田)	テキストの第1章～第3章を読んでおくこと
2	6/26(金)4限	法医学各論(藤田)	テキストの第1章～第3章を読んでおくこと
3	7/3(金)3限	大規模災害における身元確認(葛城)	テキストの第7章④、⑤を読んでおくこと
4	7/3(金)4限	大規模災害における身元確認(実習)(高塚)	テキストの第7章④、⑤を読んでおくこと
5	7/10(金)3限	損傷概論(高塚)	テキストの第4章②-1を読んでおくこと
6	7/10(金)4限	窒息概論(高塚)	テキストの第4章②-2を読んでおくこと
7	7/17(金)3限	中毒概論(高塚)	テキストの第5章を読んでおくこと
8	7/17(金)4限	虐待(子ども・高齢者)(高塚)	テキストの第8章③を読んでおくこと

【成績評価の方法と基準】

各回講義終了時の小テスト(50%)およびレポート(50%)で評価する。なお、出席状況も考慮するが、出席点としての加点は行わない。

【使用テキスト】

高取健彦監修、長尾正崇 編：NEWエッセンシャル法医学 第6版、医歯薬出版社、9,680円

田中良弘、宮森征司、高塚尚和 編著：テキストブック 法律と死因究明 [第2版]、信山社、1,800円

【参考文献】

佐藤喜宣 編著：臨床法医学テキスト 第2版、中外医学社、7,000円

池田典昭、木下博之 編：標準法医学 第8版、医学書院、6,050円

上條吉人 著：臨床中毒学 第2版、医学書院、14,300円

高津光洋 原著、近藤稔和：検視ハンドブック改訂4版、南山堂、9,680円

Pollak S, Saukka P, Knight B 編：Knight's Forensic Pathology Fifth Edition, CRC Press, 43,716円

Michael J et al：Brogdon's Forensic Radiology, CRC Press, 20,375円

【参考Webサイト】

新潟大学死因究明教育センター <https://ccdi.med.niigata-u.ac.jp/>

【生成AIの利用について】

本科目では、レポート、試験、その他の課題作成において、特に指示の無い限り、生成AIの利用を全面的に禁止します。また、授業で配布される全ての資料に関して、生成AIに読み込ませることも禁止します。全ての成果物は、学生自身の知識と思考に基づき作成してください。利用が確認された場合は、不正行為とみなし、学則に基づき厳格に対処します。

科目名：臨床実習Ⅱ

担当教員名(所属)：藤井 規孝、中村 由紀、中村 太、竹中 彰治、杉田 典子、佐藤 直子、秋葉 奈美、山崎 学、池 真樹子、大島 邦子、倉田 行伸、齋藤 直朗、齋藤 夕子、小貫 和佳奈、高 昇将、大森 裕子、野中 由香莉、山田 民子(病)、高野 綾子(病)、中嶋 優太(非)

開講番号：260DS603

開講学期：通年

水準：15

単位数：18単位

対象学部等：歯学部歯学科6年生

【科目の概要】

新潟大学歯学部総合病院において担当医の一人として診療に参加し、実地に歯科医学を学ぶ。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

社会の期待に応える医療人になるために、歯学教育モデル・コア・カリキュラムを参考に構築された診療参加型臨床実習を通じて歯科医師に求められる基本的知識・態度・技能を習得する。

【学習の到達目標】

各診療科にミニマムリクワイヤメントを設定する。

各診療科の到達目標は別途配布するガイドブックを参照すること。

【授業の実施形態について】

歯学部総合病院歯科総合診療部にて、各診療科の主治医インストラクターの下で担当医の一人として歯科治療を行う診療参加型臨床実習と、各専門診療科において定められた形式で行う分散実習の2つの実習を行う。診療参加型臨床実習については診療ごとにポートフォリオを作成、提出してフィードバックを受ける。

それぞれの実習に関する詳細はガイドブックを参照すること。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/1(水) - 10/29(木)	診療参加型臨床実習および各診療科分散実習 ※4-7月の金曜午後に講義(歯科臨床推論)がある日および夏季休業期間を除く。 ※臨床実習ⅠからⅡの期間にACKPISの一部を共用試験歯学生PX CPXとして実施	臨床実習オリエンテーション時の説明および別途配布するガイドブック参照すること。
2	10/30(金)(予定)	共用試験歯学生PX CSX ※不合格の場合、11/20(金)に再試験を行う。	受験上の注意確認

【成績評価の方法と基準】

実習実績点が400以上に達し、各科ミニマムリクワイヤメントを達成したものを評価対象とし、すべての臨床系分野の課す試験および臨床能力試験(ACKPIS、ATeST)に合格した者を合格とする。

共用試験Post-CC PXはCPXをACKPISの一部、CSXをATeSTとして実施する。

なお、合否の判定については、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」を一括して行い、最終的な成績は臨床系分野の課す試験(100%)で評価する。

各臨床系分野の成績評価の方法と基準については、ガイドブックを参照すること。

【使用テキスト】

新潟大学歯学部歯学科臨床実習実施委員会編「臨床実習ガイドブック」(オリエンテーションにて配布)

そのほかについてはガイドブックを参照すること。

【生成AIの利用について】

本科目では、生成AIの利用を条件付きで許可する。利用する場合は、以下の点を遵守すること。

1. 生成された内容をそのまま使用せず、情報の正確性や適切性を必ず自身で検証し、修正すること。
2. 最終的な成果物の責任は、学生自身が負うこと。
3. 不適切な利用(許可されていない範囲での利用や他者の著作権侵害など)が確認された場合は、学則に基づき厳格に対処する。